



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 南 賀 勝 之
幹 事 濱 田 由 弘 会 報 委 員 長 岩 永 建 保

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2281

2016-6-17

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェイトンホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

Rotary  Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン

本日の例会) 6月17日(第3例会)

- 卓話 「1年を振り返って」
西谷雅之副会長

次週のお知らせ) 6月24日(第4例会)

- 退任挨拶
南賀勝之会 長
濱田由弘幹 事
原田雄司S A A
山本英樹会 計

- 食膳 〈中国 円卓料理〉

次々週のお知らせ) 7月1日(第1例会)

- 就任挨拶
尾崎敬則会 長
中谷佳正副会長
村上泰啓幹 事
小林正啓S A A
濱田由弘会 計

先週の記事) 6月10日(第2例会)

- 出席報告
出席会員 40名 (内免除会員 10名)
会員総数 51名 (同上 17名)
ゲスト 2名
ビジター 0名
計 48名

ホームクラブ出席率 97.92%

5月26日(第3例会) 補正出席率 100% (MU3名)

- ゲスト&ビジター (敬称略)
金森 徹 (卓話者)
田中研一 (次年度ガバナー補佐)
境 高彦 (ガバナー補佐)

◆ 会長の時間 ◆

今日は、境ガバナー補佐の最後のクラブ訪問日です。
宜しくお願いします。

また、田中ガバナー補佐エレクト次年度宜しく願
います。

テイラーと四つのテストについて

ロータリーの哲学を端的に表現し、職業奉仕の理
念の実行に役立つものに、「四つのテスト」があります。
このテストは、シカゴのロータリアンであり、後にロー
タリー創始50周年(1954-55)に、国際ロータリー会
長を務めたハーバート・J・テイラーが、1932年の世界
大恐慌のときに考えたもので、商取引の公正さを測る
尺度として、以後、多くのロータリアンに活用されてき
ました。

彼は、シカゴに本拠をおくジュエル・ティー (Jewel
Tea) 株式会社の代表役員でしたが、1932年にクラブ・
アルミニウム (Club Aluminium) 製品株式会社を破産
の危機から救ってほしいと要請され、クラブ・アルミニ
ウム社に移り、この会社を再生させる決心をしたので
す。大不況の中で、低迷している会社を再生させるに
は、会社の中に、同業者にはない何かを育成しなければ
なりません。テイラーはその何かとして、「社員の人格」「信頼性」「奉仕の心」を選んだのです。そして、その育成の指針として会社の全従業員が使えるような倫理上の尺度として作られたのが四つのテストなのです。

「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

皆さん、言行はこれらに照らしてから行いましょう。

◆ 委員会報告 ◆

- ① 井上R財団・米山奨学委員長
南賀会長・西谷副会長より米山奨学に寄付をいた
だきました。
- ② 岡倉雑誌・広報委員のロータリーの友6月号記事紹介
・ラビンドランRI会長のメッセージ(P3)
・先般シカゴで開催された規定審議会に関する
レポート(P16-21)
・全国で同じ名称を持つクラブ同士の交流会特集
(P7-13)

6月はロータリー親睦活動月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

・山中伸也教授の「iPS細胞がひらく新しい医学」と題する講演録(縦4-8)
「ロータリーの友」は、積読するのではなく、良く読んでいただきたい。

③ 境ガバナー補佐の挨拶「私にとってのロータリーとは」
ロータリー活動の中で学んだ一番大切なことは、「みんなのために、進んで、役に立とう」です。私は、RCは勉強の場と捉えています。立派な人に会える機会があり、素晴らしい話が聞け、また自分に話をする機会(卓話)が与えられています。ロータリーは奉仕団体でも寄付団体でもない個人が奉仕することに意義があると思います。

親しく付き合えるのが最大の喜びであり、職業・地位・思想・年代を異にし、洗練された社会性を備えた人達ばかりの集まりであり、そこに自ずと和やかな秩序が生まれています。これがロータリーだと思います。この格調の高いクラブを志向し、会員同士の啓発に喜びを感じ、クラブライフを楽しむことが大切です。会員増強については、量より質を重んじることが大切だと思います。一人一人が魅力のあるクラブ作りをしようと努力することが重要であります。魅力あるクラブとは卓話が充実している、そして出席して良かった、あるいはまた出席したいと思える卓話プログラムを組むことが大事だと思います。

ロータリー活動の主体はクラブにあります。我が城南RCが増々活性化し、地域社会になくてはならない職業奉仕団体として永遠に繁栄されんことを祈念しています。

④ 田中研一ガバナー補佐エレクトの挨拶

「春過ぎて 夏来にけらし白妙の 衣ほすてふ天の 香久山」と歌います。つまり、酷寒の時代は既に克服し、ほっこりと風を楽しめる時代になったと言っているのです。

3. 持統天皇の時代に日本は未曾有の危機を克服しており、その施策として内政面では奴婢や囚人を最大限解放して労働人口を増加させたことが日本書紀に書かれています。さらに、日本書紀と同時代の出雲の国風土記に外交面での出雲神職家の祖先の活躍が書かれています。

4. 具体的には、同家の祖先が腕力で出雲半島を韓国から引き戻したと書かれています。さらに、古事記の巻頭神話では大国主と白兔の話として、隠岐の島と本土の間の制海権を取り戻した功績によって、先輩の有力者を押さえてこの地域の国主になる人物が描かれています。

5. 千家(出雲神職家)当主は神職と言っても神を祭る神主ではありません、神であることが職業の現人神なのです。勿論、衣食住にわたって神としてふるまいますがそれだけではありません。10月を出雲だけが神在月というのは、国中の神々が千家の支配下入るという意味で、それを国家からも天皇家からも公認されているのです。

6. 日韓両国の関係改善が難しい理由の一つに不仲のルーツが不明なことが挙げられます。しかし、7世紀頃の千家を研究することによって、それが可能になるように思います。

卓話

6月10日 <第2例会>

「出雲大社神職家(千家)とこの国の形」

大阪医科薬科大学 監査室
金森 徹氏



1. 7世紀、わずか30年足らずの間に、日本史上最大のクーデターの大化改新(645年)、第2次大戦以前では唯一の対外敗戦の白村江の戦い(663

年)、最大の内乱の一つの壬申の乱(672年)があります。さらにこの時期に「白鳳地震」という最大規模の地震も起こります。この国は存亡の危機にあったのです。

2. しかし、この危機から20年ほど後の持統天皇は

にこにこ箱

6月10日(第2例会)

- ・金森様、本日の卓話宜しくお願ひします。
田中ガバナー補佐エレクト、ようこそいらっしゃいました。
台湾写真ありがとうございます。 南賀会員
- ・田中ガバナー補佐エレクト、ようこそ。バトンタッチします。 境会員
- ・先日は楽しい思いをしました。 奥田会員
- ・上会員ありがとうございます。
原田会員、濱田会員
- ・連続ホームクラブ欠席、失礼致しました。
室谷会員

(編集担当 岩永・山本(智))

会員増強にご協力を!!